



桜蓮祭


新潟県立看護大学
 Niigata College of Nursing

後援会だより

contents

- P.2 ● ごあいさつ
- P.3 ● 卒業式、旅立ちの言葉
- P.4 ● 桜蓮祭
- P.6 ● 学内活動の様子
- P.7 ● 学外活動の様子
- P.8 ● 学外活動の様子、年間カレンダー、お知らせ

vol.30
2019.3

ごあいさつ Greetings



新潟県立看護大学
学長 小泉 美佐子

今年は暖冬で雪も少なくそのまま春の到来と思いきや、大寒波襲来で2月中旬にかけて一面雪景色となる真冬なみの日が続きました。東京での国家試験受験に影響しないか心配しましたが滞りなく受験でき、3月14日の卒業式には90名が本学を巣立ちました。

本学は単科の看護大学であり、丁寧な教育支援体制を大学の強みと認識しています。その一環として年に1回、学生自治会並びにクラス委員と大学側との意見交換の場をもっており、今年は1月10日に意見交換会が開催されました。会に先立ち、学生生活実態調査（家での学習時間、アルバイトのこと、悩みごとの相談等についてのアンケート調査）を実施し、調査結果をまとめた資料に目を通して会に臨んでいます。自習室での飲食が可能となったこと、駐車場の整備はこの会の学生からの意見をきっかけとして可能となったなどの紹介があり、学生委員長の進行の下に、和やかな意見交換会となりました。学生からは授業や実習、試験に対する要望、また昨年は酷暑であったところから「教室の冷房を何とかして欲しい」といった要望が出ました。要望・意見に対して、その場で答えられることは返し、教授会に報告するなどしています。施設整備については経費の関係で、直ちに対応できない場合もありますが、できることから学習環境の整備に努めてまいります。

大学は平成25年度から公立大学法人・新潟県立看護大学となり、今年度は法人になって第1期（6年間）の最終年度にあたります。期目標に係る業務の総括評価を受けるとともに第2期中期目標及び中期計画を立てる年度となりました。第2期中期目標は昨年12月に県議会の議決を経て、県知事が定めるところにより本学ホームページにも掲載されています。第1期の総括評価は未だ頂いておりませんが、初めての法人業務計画に対し、教育研究や地域貢献において実施可能な計画に積極的に取り組んで年々成果を出してきました。第2期計画はその分、取り組みのハードルは高くなっています。さらに受験年齢層人口の減少、近隣看護系大学の造設など、大学を取り巻く環境は厳しさを増しています。この様な状況下においては6年間の先を見通した行程表を備えておく必要があり、その作成に着手しています。

こうした状況を踏まえ、後援会の皆様におかれましては今後とも大学運営に対する厚いご理解と一層のご支援をお願いいたします。

平成31年3月吉日



卒業式 Graduation ceremony

旅立ちの言葉

新潟県立看護大学看護学部看護学科
卒業生代表

私達、新潟県立看護大学看護学部看護学科14期生90人は、この良き日に無事に旅立ちの時を迎えることができるととても幸せに思います。入学当初は大学生活に慣れていないことから苦労することが多かったことを思い出します。先生方や教職員の方々、家族のサポートがあったことで恵まれた環境で学業に専念することができたことに卒業生一同感謝しています。

卒業の時を迎えることができた今4年間の大学生活を振り返ってみると多くの思い出が昨日のこのように浮かんできます。期待や不安を感じながら始まった今までの高校生活とは違う学校生活でした。学校生活では先生方や同級生たちと看護について学んできました。学年が進むに連れて専門的な知識を学ぶことが増え、知識や技術を習得することに必死でした。

はじめは看護について机上で多くの知識を学び、看護技術を演習で学び、これらを生かして病院での実習で看護の多くを学ぶことができました。実際に実習をするまで漠然としていた看護の学びが患者さんに援助させていただけたことで看護のあり方や知識をより実践的に習得していくことができました。特に3年次の領域別実習では様々な領域で実習を行わせていただき、看護の幅広さを知り、学ぶことができました。

大学生活では多くの友人や先輩、後輩とともに学校行事や勉学に取り組み多くの思い出を残してきました。中でも大学祭である桜蓮祭やサークル活動では楽しい思い出を作ることができ、多くの友人を得ることができました。大学生活で得ることができた友人は実習や勉強を行う中でも助け合い、協力しながら乗り越えることができました。

大学生活では看護の勉強だけでなくアルバイトやボランティア活動などの社会的活動を通して、多くの経験と知識、礼儀などを学ぶことができました。自分の意志と力で物事を行い、これから社会に出た際に役立つことを多く学ばせていただくことができたことに感謝しています。大学生になり、社会的な活動も積極的に参加するようになったことで学校内だけでなく学校外の人とも交流することができ、一人の人間として大きくなることができたと感じることができ幸せに思います。改めて勉強だけではわからなかった知識などを身に付けることができた4年間であったと思います。

晴れて卒業という日を迎えた今、私たちを支えてくださいました先生方、大学職員の皆さまをはじめ、私たちを温かく見守り支えてくださった多くの方々へ心より感謝申し上げます。不慣れな援助を受け入れ、私たちに学ぶ機会を多く与えてくださった患者さん、私たちに厳しく、時に温かく指導し、看護の道へと導いてくださった先生方、同じ志を持ち、共に学びあってきた仲間たち、そして、私たちの思いを尊重し、精一杯応援してくれた家族。すべての人々の支えがあったからこそ、充実した4年間を過ごすことができました。言葉では言い表せないほどの感謝の思いを、明日の力に変えて、私達は新しい一歩を踏み出します。



“旅立ちの言葉” を述べた

平成31年3月14日





第17回 桜蓮祭

Cultural festival

11月4日

第17回桜蓮祭を終えて



桜蓮祭実行委員長

今回は、平成30年11月4日に第17回桜蓮祭を開催しました。本年度のスローガンは「action～地域とともに踏み出す1歩～」としました。第20回の節目の年に向け、昨年度の第16回には初心に帰り、新たなスタートを切りました。そこで今年度はスタートから1歩踏み出そうということでこのスローガンにしました。今年度もスポンサーになっていただいた多くの企業の皆様、大学講演会の皆様から多くのご支援をいただき、無事学園祭を開催できました。心より御礼申し上げます。

雲ひとつない青空のものたくさんの方々にお越しいただき、地域の皆様の笑顔を見ることができました。

今年度の学園祭では、介護関係の資格をもち芸人しながら介護関係の仕事もしているレギュラーさん、お笑い芸人でありながら医師免許を持つしゅんしゅんクリニックPさんに来ていただき盛り上げいただきました。

一世風靡したあるある探検隊、医療職あるあるで、学生、地域の皆様に大変盛況でした。また今年度もフレアパートナーのKEIGOさんをお呼びしパフォーマンスをしていただきました。音楽によって洗練されたパフォーマンス、火を吹く派手なパフォーマンスと、とても素晴らしいショーをしていただきました。

看護大学ならではのものとして、今年度も災害看護サークルによるハンドマッサージ、4年生によるバイタルチェック、NHDサークルによるヘッドネーションなどの企画がありました。中でもヘッドネーションは、病気や事故などで髪の毛を失ってしまった人に髪の毛を提供し無償でウィッグを制作、提供する活動で近年注目されている活動です。しかしまだまだ認知度が高いとは言えず、髪の毛の寄付がなければ活動できないため多くの方にヘッドネーションについて知っていただく必要があります。今回の学園祭は地域の皆様に知っていただく良い機会になったのではと思います。

そのほかにもバンド、ダンス、よさこい、合唱サークルによるライブが行われ、好評をいただきました。

無事に今年度も大きな問題もなく終わることができたです。来年度以降も地域の皆様に楽しんでいただけるよう実行委員一同頑張りたいと思います。お越しいただいた方々、学園祭運営にご協力していただいた方々誠にありがとうございました。ぜひ来年も桜蓮祭りに起こしてください。心よりお待ちしております。



自治会カフェ



よさこいサークル



ダンスサークル

DANCE LIVE 2018



～地域と

A

桜



おいしい焼きそばいかがですか～?

フットサルサークル 焼きそば



ビンゴ大会



野球サークル

▲たくさんの方にお越し頂きました！



バスケットボールサークル

肉まん・あんまん・ヒサまん



陸上サークル ミニアメリカンドック



▲裏方では、厨房で学生たちが一生懸命作ってくれました





合唱サークル



バンドサークル

スペシャルゲスト
登場の前に、
学生が漫才で会場を
盛り上げました！



スペシャルゲスト
KEIGOさん



▲今年もフレアパーテナー KEIGOさんに
来て頂きました！

Action

ともに踏み出す一歩～



し たらあげ



茶道サークル 桜蓮茶会



NHDサークル
「ヘッドネーションを知ろう」



ソフトテニスサークル
タビオカジョース



◀今年も献血会場として
場を提供し、
桜蓮祭をあげて
献血PRに
協力しました



受付

笑顔で
お出迎え



災害看護サークル
ハンドマッサージ体験



豚汁
アウトドアサークル 豚汁



今年も開催！ レシピコンテスト

▲作ってみたい、おいしそうメニューがずらり！

学内活動の様子

Campus activities

オープンキャンパス 8月6日、20日



「オープンキャンパス」が開催されました。

全体説明に先立ち、ダンスサークルにパフォーマンスをしていただき、華やかなウエルカムステージとなりました。また、看護大学ならではの各領域における体験演習の場面では、学生に実際の演習も交え、紹介していただき、みなさま楽しんでいただきました。

その他学生活動紹介、在学生との懇談コーナーでは、リアルな学生の声もお届けすることができ、夏休み中ではありましたが、多くの学生に協力をいただき、本学の魅力を十分アピールしていただきました。



学生との意見交換会 1月10日

「学生と教職員との意見交換会」を開催しました。

1～4年生の自治会役員やクラス委員の代表に日ごろの授業・実習・学生生活における学生の意見を事前にとりまとめていただき、様々な意見・提案を述べていただきました。会の中では、日ごろからの学生と大学とのコミュニケーションの大切さなどについても話があり、学生と大学でより良い大学を作りに向け、貴重な意見交換の場となりました。



看護研究発表会 12月18日

看護研究発表会では、4年生が、集大成としてそれぞれが選んだ研究テーマの成果について発表しました。

今まで積み重ねてきた研究の成果について発表している4年生は、緊張しながらもしっかりと発表している様子でした。

研究に対して活発に様々な質問が出ていましたが、ひとつひとつ丁寧に答えており、4年間の成長を感じました。





学外活動の様子

Extracurricular activities

認知症オレンジサークルの活動 8月3日ほか

上越市では、小学生への認知症の理解を広めようと小学生向け認知症サポーター養成講座の開催をすすめており、本学認知症オレンジサークルもその活動に認知症キャラバンメイトとして参加しました。

8月～9月を中心に市内5カ所の放課後児童クラブにて認知症サポーター養成講座を開催しました。小学生にもわかりやすく伝えるために、財布をなくした、名前を忘れた等日常的な場面を取り上げ、認知症の家族をテーマに寸劇を行いました。

講座の中では、子どもたちなりに認知症を理解しようと真剣に耳を傾けている姿がみられ、参加したサークルメンバーも小学生の熱心さに驚いたようです。



リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018にいがた 9月22日

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」とは、がん征圧・患者支援のための募金を集める24時間（夜間越え）のチャリティ・イベントで、毎年全国各地で開催されています。新潟県では、新潟県スポーツ公園（新潟市中央区）で9月22日に開催され、県内の他大学の看護学生とともに本学学生4名が参加しました。

当日は、参加者とともにリレーウォークや、ブースを設けて参加者の血圧を測定するイベントなどに参加し、また県内他大学の看護学生との交流も深める貴重な機会となりました。



1年生ふれあい実習

9月27日ほか

1年生にとって入学後初めての実習となる「ふれあい実習」が行われました。1年生は、上越地域の3地域に分かれ、地域の方と交流し様々な生活体験を実践しました。

農山村での生活体験そのものが初めてという学生も多く、学生にとって新鮮な体験となりました。また、実際に地域の生活にふれ、地域医療の必要性を学ぶ機会となりました。現地実習の最終日には、学生が企画した「お楽しみ会」も行われ、地域の方と和やかな交流を図ることができました。



中央病院災害訓練ボランティア

12月1日

災害拠点病院である県立中央病院では、毎年災害医療に対する意識啓発や災害対応マニュアルの検証などを目的に、災害訓練が行われており、毎年、本学の学生が「傷病者役」のボランティアとして参加しています。

今年は、本学学生15名が参加しました。当日の訓練では、担架で運ばれ、トリアージを受けるなど実際に災害が起こった際の医師や看護師の活動を知り、また災害看護・救急看護への関心を深める良い機会となりました。



31年度年間カレンダー

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ガイダンス・健康診断 春季休業（4月1日～2日） 入学式・後援会総会（4月5日） 前期授業開始（4月8日） 1年次生オリエンテーションガイダンス（4月12日～13日）	開学記念日（5月8日）		継燈式（7月6日）	夏季休業（8月1日～9月30日） ※時間割の都合で授業が開催される場合があります。		後期授業開始（10月1日）	大学祭「桜蓮祭」（11月3日）	冬季休業（12月26日～1月5日）			卒業式（3月13日） 春季休業（3月14日～31日）

後援会の主な事業

会員相互及び大学との連携

総会を年1回、入学式当日に行い、毎年度の事業計画を決定します。年2回、「後援会だより」を発行し、学内での学生活動などを紹介しています。

学生自主活動推進事業

学生が自主的に運営している自治会、桜蓮祭（大学祭）、継燈式などへの助成を行います。

学生教育振興事業

1年次に購入する実習衣や各実習に伴う雑費などを補助します。

学生福祉増進事業

学生食堂及び売店への光熱水費等の補助を通して、食事や清涼飲料水等を低価格で学生に提供しています。小児感染症抗体価検査や学外オリエンテーション費用などの一部を補助しています。

平成31年度新潟県立看護大学後援会総会

お知らせ

日 時 平成31年4月5日(金) 入学式終了後 11:30～12:10
 会 場 本学第1・2ホール

新潟県立看護大学後援会

後援会事務局 お問合せ先
 〒943-0147 新潟県上越市新南町 240 番地 新潟県立看護大学 教務学生課
 Tel 025-526-2811 Fax 025-526-2815 E-mail : togaku@niigata-cn.ac.jp